

個人山行 日光白根山・武尊山・皇海山

2013年6月4（火）～7日（金）

岡本（単独）

<行程・時間>

6月4日 21:00自宅発

6月5日 5:30菅沼登山口着→6:10出発→7:45弥陀ヶ池→8:35白根山山頂（20分休）→9:40避難小屋前→9:55五色沼（25分休）→10:40弥陀ヶ池→11:50登山口

6月6日 6:00民宿発→6:35川場登山口着→6:45登山口発→8:10スキー場分岐→8:45前武尊山→10:10中ノ岳分岐→10:35武尊山山頂（25分休）→12:30前武尊山→14:05登山口着

6月7日 5:50民宿発→7:05皇海橋着→7:15登山口発→8:35不動沢のコル→9:20皇海山山頂（15分休）→10:05不動沢のコル→11:00登山口着

関西から中々行き辛い北関東の百名山を目指す。いつものように深夜の高速ドライブを楽しむ。迷ったが、大和高田から名阪国道、東名阪、伊勢湾岸、東海環状、中央自動車道、長野自動車道、上越自動車道、関越自動車道と、ジグザグに高速を走り、最後に沼田ICを下り、日本ロマンチック街道を片品村まで行く。



早朝に少し朝靄の出ている菅沼登山口に到着。大きな土産屋や食堂のある建物の脇に林道のようなものがあり、入ると直ぐに登山客向けの駐車場がある。既に4台ほど車が駐まっているが、1台はまだ車の中で仮眠しているようだ。早速に清々しい白樺に包まれた林道を歩く。林道は直ぐに終わり、笹原に出る。そこに大きな案内があり、少し行くと登山道が始まる。

樹林帯の中の登山道が続き、景色は殆ど見えない。山の北斜面でもあり、少し行くと残雪地帯に入るが、踏み跡も標識もはっきりしており、迷う心配は無い。凍っているところも殆どなく、アイゼンを装着せずに歩く。

樹林帯が切れると、突然弥陀ヶ池が現れ、全面に白根山が聳える。暫く池に沿って歩き、池の奥まったところから残雪の中を尾根まで登る。この辺りから溶岩塊の道となり、展望が開ける。高度を稼ぐにつれどんどん雄大な景色が見えてくる。中腹まで来ると登山口から弥陀ヶ池もよく見える。天候も良く、最高の気分だ。



最後の岩の塊を越えると頂上の一角に当たるピークに出る。三角点の最高峰は窪地を越えた向こうに見える。最後の一踏ん張りで最高点に着く。山頂付近は遮るものは全くなく、360度の大パノラマだ。至仏山、燧岳が真正面に見え、少し左を見ると武尊山も綺麗に見え、暫く景色に見とれる。いくら見ても飽きない眺望だが、東の方から徐々に雲が湧き上がって来る。午後には雷雨の予報もあり、少し未練が残るが頂上を後にする。



天気は徐々に悪くなって来る。男体山や中禅寺湖は既に霞んでいる。急ぎ避難小屋から五色沼方面へ下山する。途中、陽が照り、五色沼が綺麗に見える。山の景色は、本当に天気次第だ。急な坂を下っていくと所々に山桜がある。しかし、この辺りではまだつぼみが色づきだした頃で、まだ花を楽しむまでは少し時間が掛かりそうだ。



そうこうしているうちに避難小屋に着く。そこから前白根山へのルートがあるが、天気も今ひとつなので五色沼へ向かう。空は段々どんよりしてきて、沼の水面も灰色がかり先ほど見え

た色彩とはだいぶかけ離れたイメージだ。少し晴れると白根山が綺麗に見え、微妙に水の色も変わる。誰もいない、少し幽玄な雰囲気もある沼畔で少しゆっくりする。ここから弥陀ヶ池までは小さな峠を越し、その後はひたすら下山するだけだ。

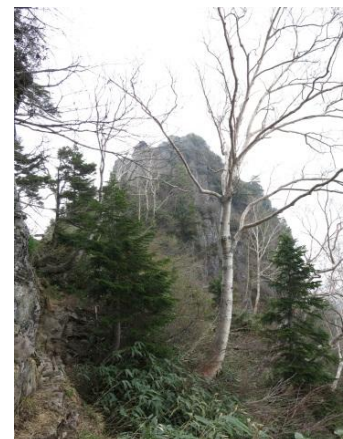
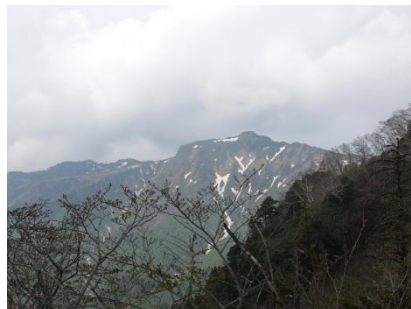
登山口に着いたが、まだ民宿に入るまで大分時間がある。時間潰しのため、日光の戦場ヶ原や、今度は反対方向の尾瀬戸倉温泉までドライブする。チェックインの時間を少し過ぎ、漸く民宿に辿り着き、やっとビールにありつく。

2日目は武尊山を目指す。どの登山口にするか少し迷ったが、スキー場を歩くのも嫌だったので、一番南の川場キャンプ場から登る。駐車場に着いたが、高崎ナンバーの車一台だけだ。今日も静かな山行が楽しめそうだ。駐車場の先に登山口の標識があり、登り4時間30分、下り3時間40分、往復の消費エネルギー2940Kcalと書かれてある。消費エネルギーまで書かれてある標識は初めてのよう気がする。どうやって計ったのだろうか。



天気は予想に反しあまり良くない。午前中は晴と思っていたのに残念だ。が、兎も角登る。不動岳の分岐までは緩やかな登りだ。そこから天狗尾根まで少し急な登りが続く。樹林帯の中で景色も見えず、この辺りはただ黙々と歩くだけだ。尾根に出るとなだらかな道となる。景色はあまり見えないが、所々にシャクナゲの花や濃いピンク色のツツジが咲いている。スキー場からの登山口との合流辺りから、前武尊山まで結構急な坂道が続く。前武尊山の山頂も樹林帯の中で、あまり景色は見えない。

前武尊山で朝食を取り出発する。直ぐに剣ヶ峰の一部が見えてくる。ピーク越しのルートもあるが、曇で霞んでいるので巻き道に行く。尾根道は少し登りはあるものの、展望も良く、中々快適なコースだ。所々、シャクナゲに加え山桜もひっそりと花を付けている。その先には武尊山も見えるが、雲のためどんよ



りとしか見えない。山頂までは、所々に残雪が残っており、ピークを巻く

ところでは残雪の上を歩く。頂上手前には、数百メートル程の残雪の上を歩くが、傾斜もそれ程きつく無く、アイゼンは付けず通過する。剣ヶ峰を越えてからは、家ノ串山手前に少し登りはあるが、そこから大した登りもなく、快適に歩ける。惜しむらくは、もう少し天気が良ければと言ったところか。



頂上は360度の大パノラマと書いてあったが、生憎今日のかすかに至仏山や周辺の山が霞んで見える程度だ。残念ではあるが、昨日に大パノラマを楽しめたこともあり、まあ、仕方無いと言うと

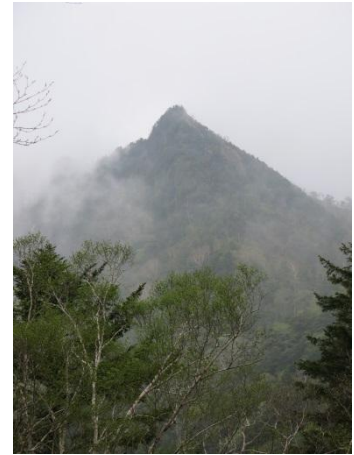
ころか。頂上で暫く休み、民宿に戻る時間の関係もあり、ゆっくりと下山する。今日も出会った登山客は2人だけで、静かな山歩きであった。

最終日の今日は皇海山だ。天気心配だったが、何とか雨も降らずに済んだ。6時前に民宿を出る。百名瀑の「吹割の滝」付近から林道に入るが、中々の悪路だ。所々土砂崩れ跡もあり、岩が剥き出しのところもあるでこぼこ道だ。車も時速10～20km程度しか出せず、たっぷり1時間要してしまった。登山口の皇海橋には水洗便所などもあり、結構整備されている。が、道路は普通の乗用車であれば、何度も底を擦るような悪路だ。

雨が心配なので、直ぐに出発する。最初は沢沿いのコースを進む。沢を何度か渡ると、徐々に水量が減っていく。沢が尽きる辺りまではそれ程急な登りは無いが、沢から尾根に取り付く所はかなり急な坂道となる。特に、数カ所、滑り易い粘土質の急な坂があり、笹や木を掴みながら登って行く。それを登り切ると不動沢のコルに出る。ここまでは意外に早く登れた。

少し霧も出てきて、何時雨が降り出してもおかしくない雰囲気なので、直ぐに出発する。山頂まで標高差300m程なので楽勝かと思って歩き出した。が、意外に急な登りも多く、倒木が道を塞ぎ、それを迂回したり乗り越えたりで、結構体力を消耗する。しかし、今日は標高差800m程で、アップダウンも無いので一気に山頂まで行く。

登山口から山頂まで、樹林帯の中ばかりなので、景色は殆ど見えない。また、曇り空で遠望もかすみ、イマイチの印象だ。少し休んで下山したが、途中のコルで、鋸山か蔵王岳かはっきりしない少し山らしいものが見えた。遠くから眺める山として綺麗な山かもしれないが、歩く山としては、さほど魅力的とは思えない。



ということで、今回の百名山巡りも無事終える。帰りは高速料金の節約もあり、関越の沼田ICから高速に入らず、日本ロマンチック街道を走る。浅間高原、軽井沢、小諸と行き、そこから白樺湖まで走る。そこから、かなり傷んだ老いたビーナスラインを蓼科高原まで行き、諏訪ICから高速に乗る。時間は掛かったが、距離、高速料金も相当節約できた。残念なのは、所々雨が強くなり、景色もあまり見えず、折角の素晴らしいドライブウェイを十分楽しめ無かったことだ。

以上